

令和 2 年度

男女共同参画社会に関する

アンケート調査報告書

【はがきによるアンケート】

令和 3 年（2021 年）3 月

茅ヶ崎市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 回収結果	1
4 調査結果の見方	1
第2章 調査結果の詳細	2
1 回答者の属性	2
2 各設問の調査結果	4
(1) 男女共同参画に関する用語の認知度	4
①男女共同参画社会基本法	4
②ちがさき男女共同参画推進プラン	5
③茅ヶ崎市男女共同参画推進センターを拠点とした男女共同参画社会 の形成に向けた取組	6
④女性のための相談室	7
⑤メディア・リテラシー	8
(2) 男女の地位の平等について	9
(3) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について	10
(4) 一般的に女性が職業を持つことについて	11
(5) 配偶者や恋人などパートナー間における暴力行為について	12
(6) 女性が妊娠・出産等について自ら決定することについて	13
(7) 新型コロナウイルスにより影響を受けた生活実態について	14
第3章 調査結果のまとめ	16
資料編	17
1 調査票	17
2 各設問の集計表	18

第 1 章 調査の概要

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、男女共同参画社会に関する市民の意識や実態等を把握し、今後の茅ヶ崎市の男女共同参画の施策に反映させるための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査の方法

- (1) 調査地域：茅ヶ崎市全域
- (2) 調査対象：市内在住の 18 歳以上の男女 1, 300 人
- (3) 抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出
- (4) 調査方法：郵送配布・郵送回収（往復はがき）またはインターネット回答
- (5) 調査期間：令和 3 年 1 月 4 日（月）から 2 月 1 日（月）まで（当日消印有効）

3 回収結果

- (1) 配布数：1, 300
- (2) 有効回収数：416（はがき：314・インターネット：102）
- (3) 有効回収率：32.0%

4 調査結果の見方

- (1) 図表中の N は、回答者数のことです。
- (2) 回答は全て N を基数とした百分率で表し、小数点第二位を四捨五入しました。このため、百分率の合計が 100%にならない場合があります。
- (3) 集計の結果の表やグラフでは、コンピュータ入力の都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合があります。

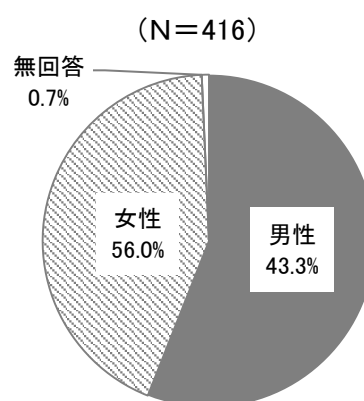
第 2 章 調査結果の詳細

第2章 調査結果の詳細

1 回答者の属性

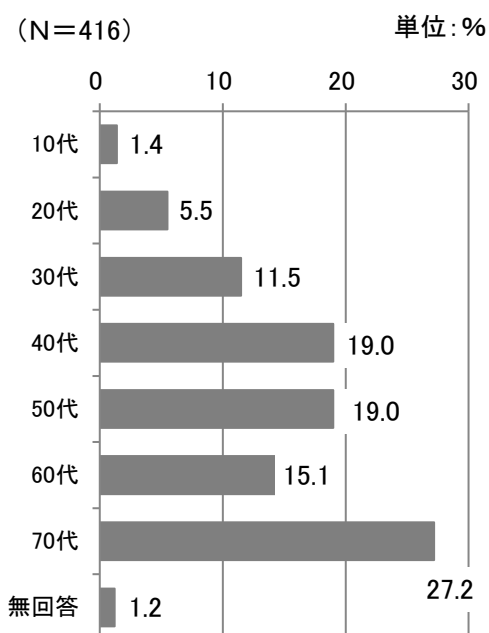
(1) 性別

性別	件数	%
女性	233	56.0
男性	180	43.3
無回答	3	0.7
合計（回答者数N）	416	100.0



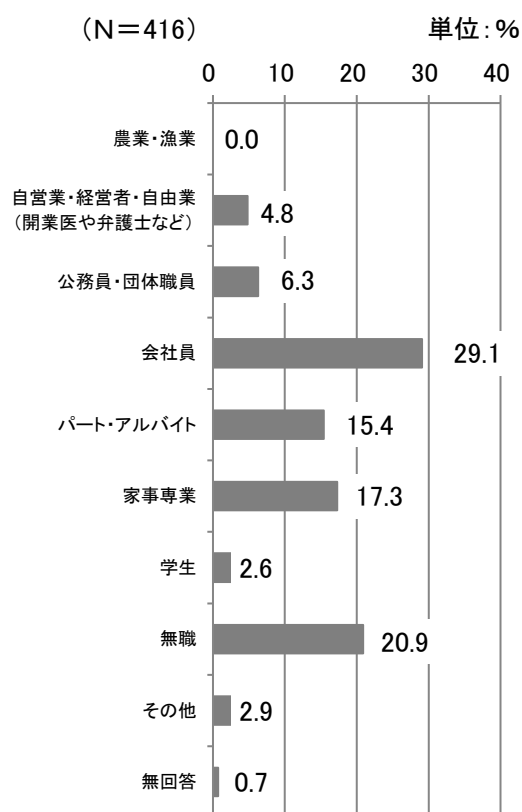
(2) 年代

年代	件数	%
10代	6	1.4
20代	23	5.5
30代	48	11.5
40代	79	19.0
50代	79	19.0
60代	63	15.1
70代	113	27.2
無回答	5	1.2
合計（回答者数N）	416	100.0



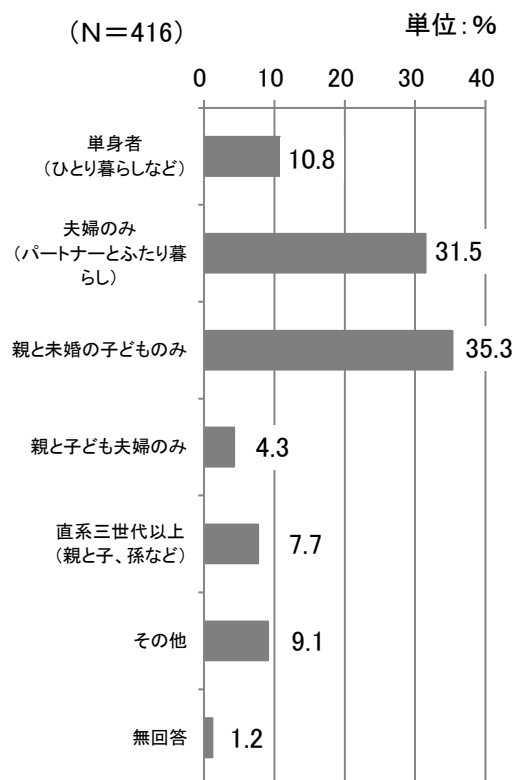
(3) 職業

職業	件数	%
農業・漁業	—	—
自営業・経営者・自由業 (開業医や弁護士など)	20	4.8
公務員・団体職員	26	6.3
会社員	121	29.1
パート・アルバイト	64	15.4
家事専業	72	17.3
学生	11	2.6
無職	87	20.9
その他	12	2.9
無回答	3	0.7
合計 (回答者数 N)	416	100.0



(4) 家族構成

家族構成	件数	%
単身者 (ひとり暮らしなど)	45	10.8
夫婦のみ (パートナーとふたり暮らし)	131	31.5
親と未婚の子どものみ	147	35.3
親と子ども夫婦のみ	18	4.3
直系三世代以上 (親と子、孫など)	32	7.7
その他	38	9.1
無回答	5	1.2
合計 (回答者数 N)	416	100.0



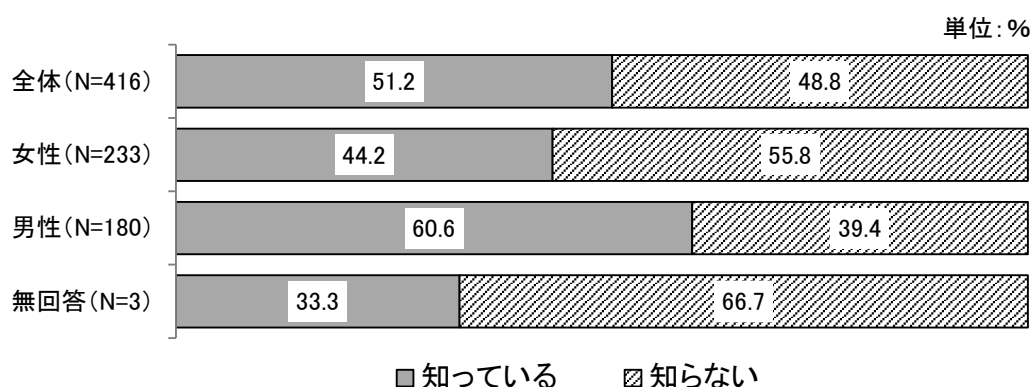
2 各設問の調査結果

(1) 男女共同参画に関する用語の認知度

問1 次のうち、知っている言葉や取組にすべて○をしてください。

1 男女共同参画社会基本法, 2 ちがさき男女共同参画推進プラン, 茅ヶ崎市男女共同参画推進センターを拠点とした、男女共同参画社会の形成に向けた取組, 4 女性のための相談室, メディア・リテラシー

① 男女共同参画社会基本法

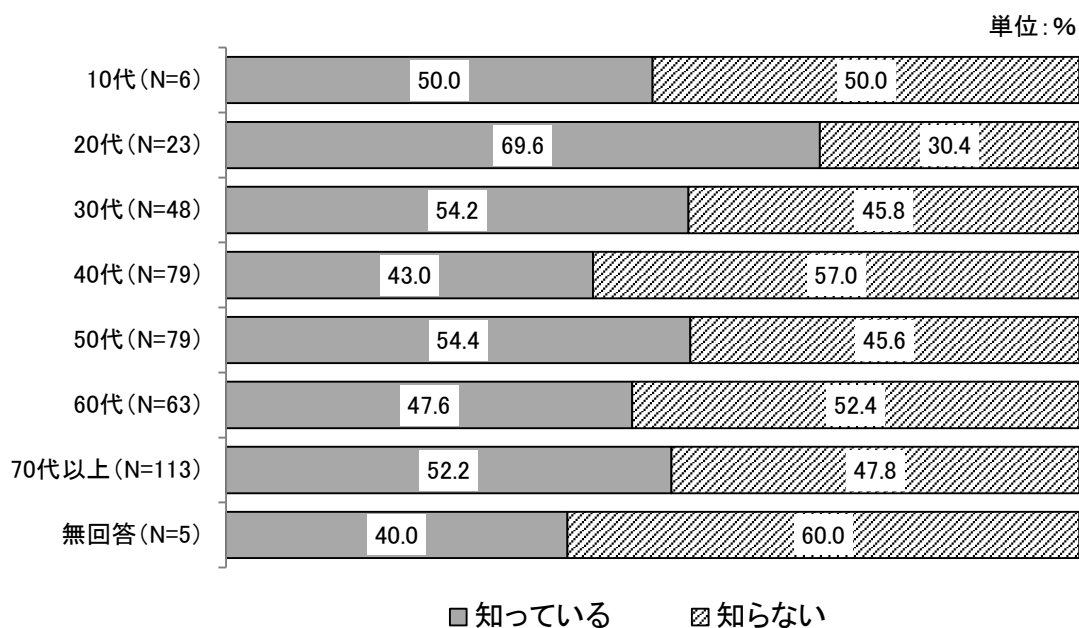


[全体の傾向]

「男女共同参画社会基本法」の全体の認知度について、「知っている」と回答した割合は51.2%と過半数を占めており、「知らない」(48.8%)を2.4ポイント上回っています。

[男女別の傾向]

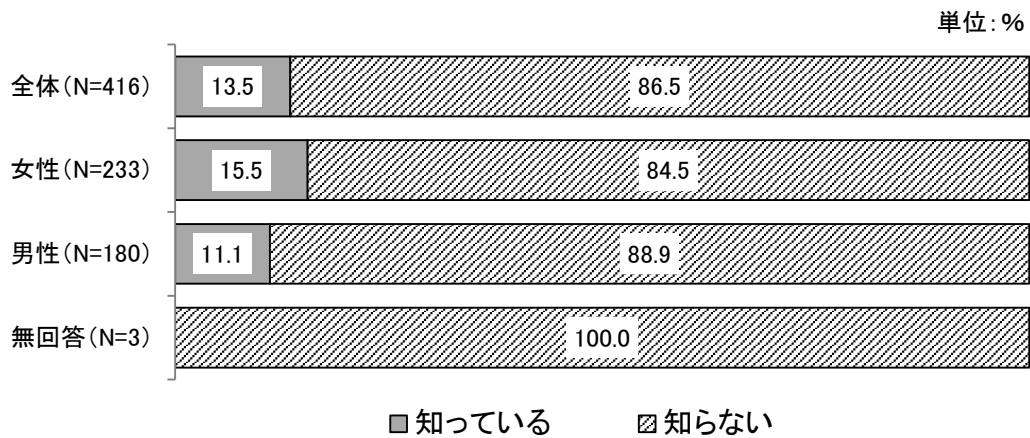
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が44.2%、男性が60.6%で、女性が男性より16.4ポイント低くなっています。



[年代別の傾向]

年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、20代が69.6%で最も高く、50代(54.4%)、30代(54.2%)が続きます。40代は43.0%と最も低く、20代(69.6%)より26.6ポイント低くなっています。

②ちがさき男女共同参画推進プラン

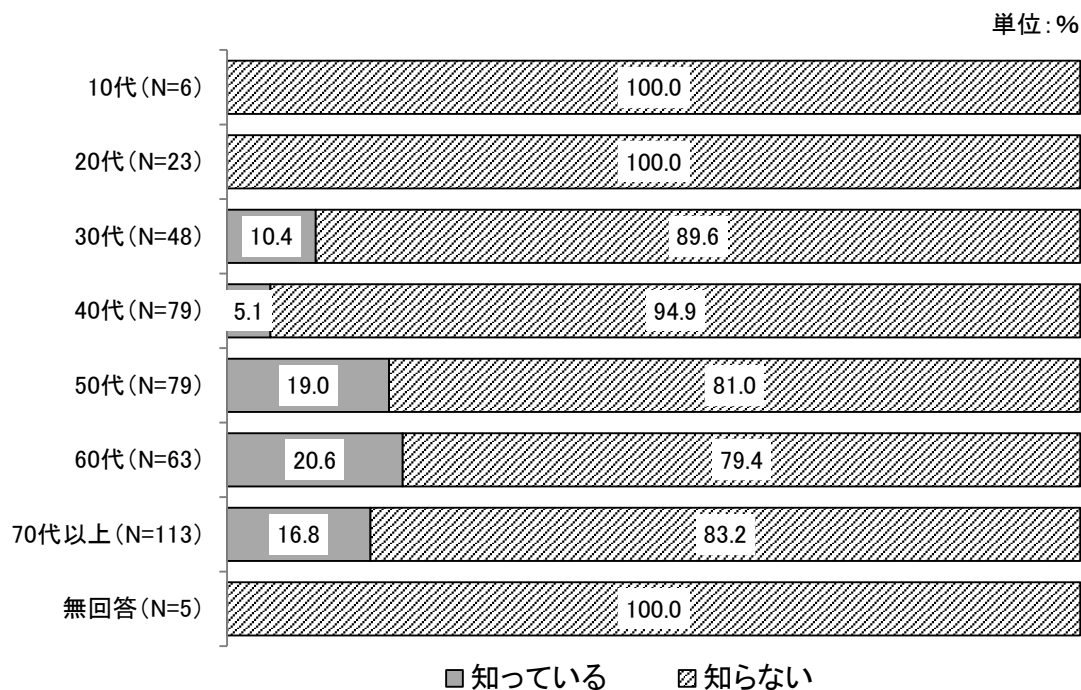


[全体の傾向]

「ちがさき男女共同参画推進プラン」については、認知度が低く、「知らない」と回答した割合が86.5%と、「知っている」(13.5%)を73ポイント上回っています。

[男女別の傾向]

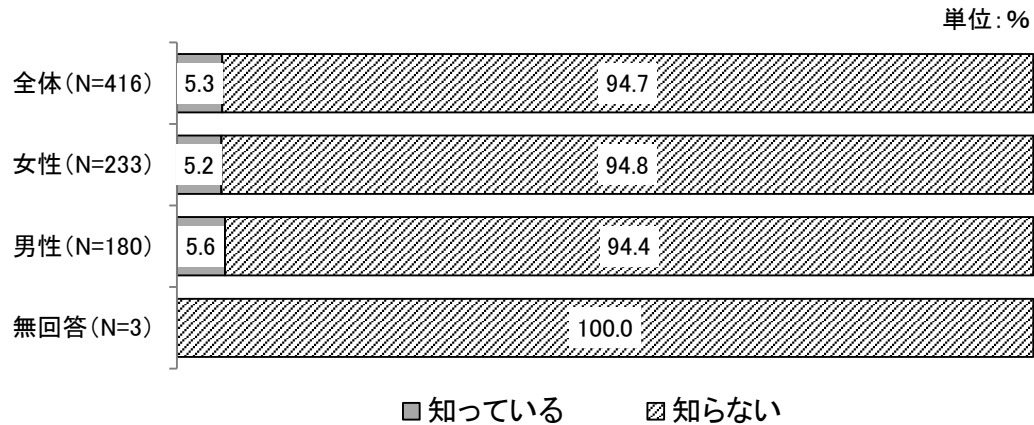
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が15.5%、男性が11.1%で、男性が女性より4.4ポイント低くなっています。



[年代別の傾向]

年代別で見ると、全ての年代で認知度が低く、最も認知度が高い60代でも20.6%という結果になっています。

③茅ヶ崎市男女共同参画推進センターを拠点とした、男女共同参画社会の形成に向けた取組

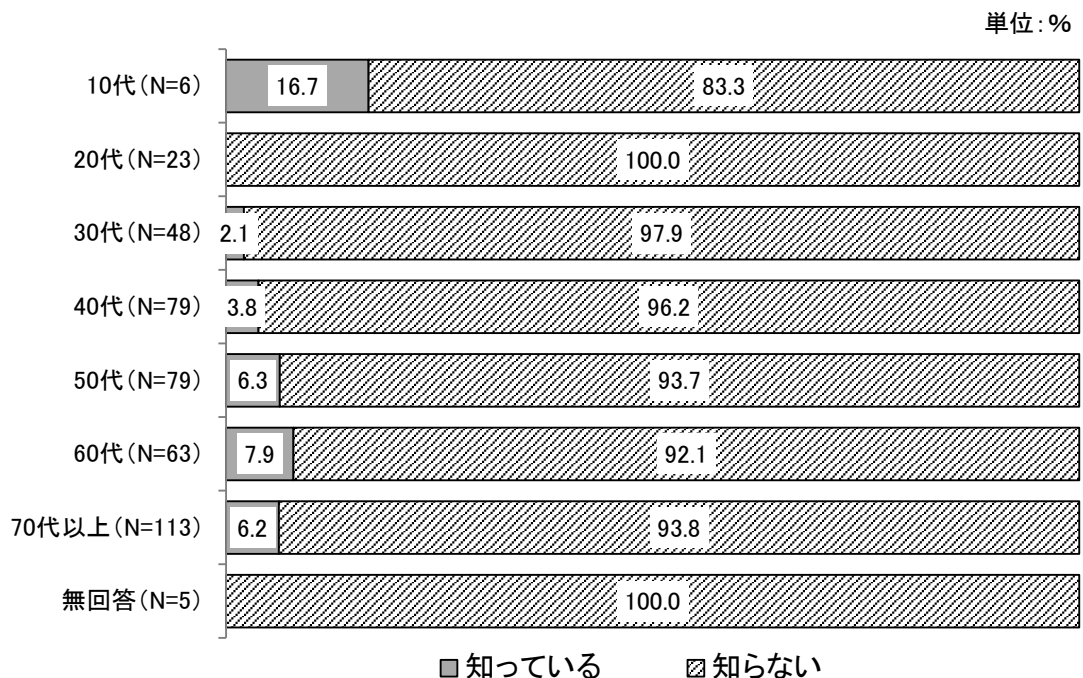


[全体の傾向]

「茅ヶ崎市男女共同参画推進センターを拠点とした、男女共同参画社会の形成に向けた取組」については、認知度が低く、「知らない」と回答した割合が94.7%と、「知っている」(5.3%)を89.4ポイント上回っています。

[男女別の傾向]

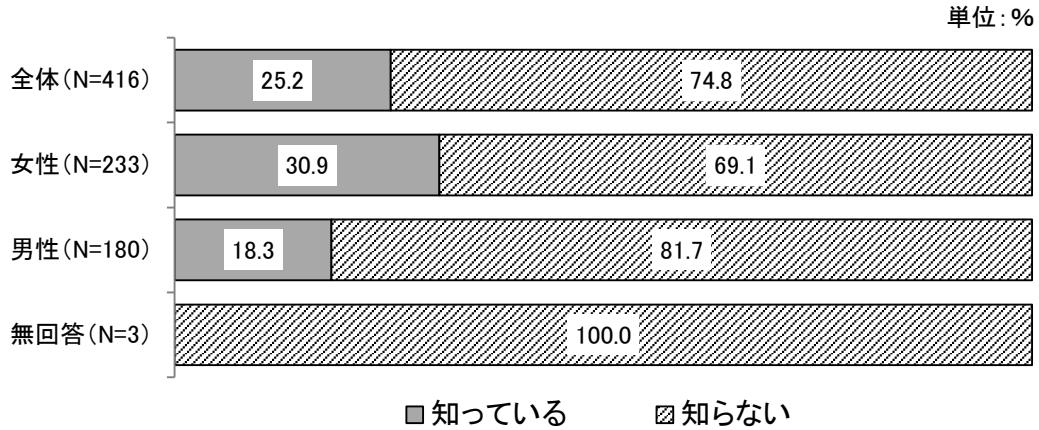
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が5.2%、男性が5.6%で、女性が男性より0.4ポイント低くなっていますが、性別による大きな傾向の違いはありません。



[年代別の傾向]

年代別で見ると、全ての年代で認知度が低く、最も認知度が高い10代でも16.7%という結果になっています。

④女性のための相談室

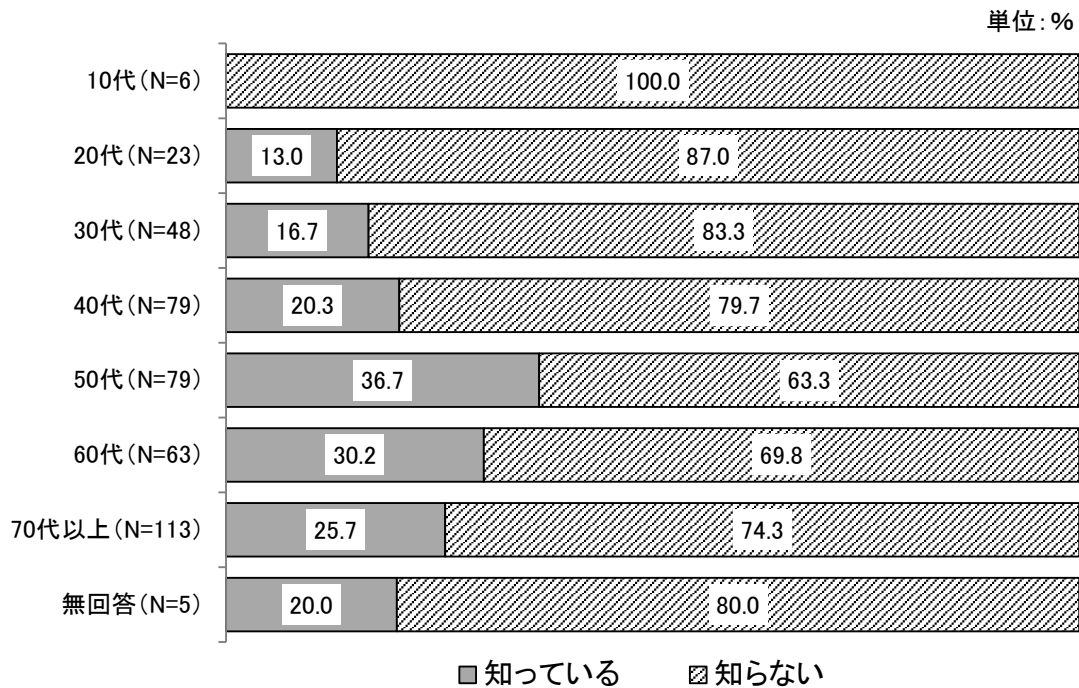


[全体の傾向]

「女性のための相談室」の全体の認知度については、認知度が低く、「知らない」と回答した割合が74.8%と、「知っている」(25.2%)を49.6ポイント上回っています。

[男女別の傾向]

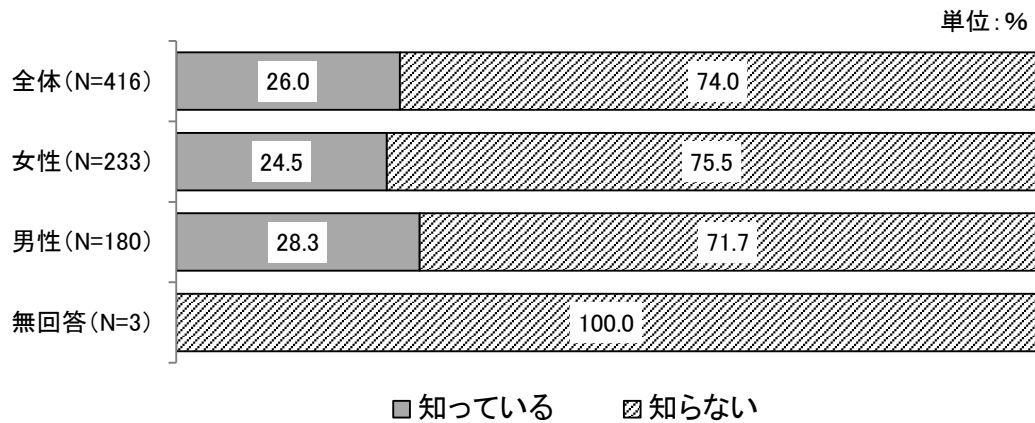
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が30.9%、男性が18.3%で、男性が女性より12.6ポイント低くなっています。



[年代別の傾向]

年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、50代が36.7%で最も高く、60代(30.2%)、70代以上(25.7%)が続きます。

⑤メディア・リテラシー

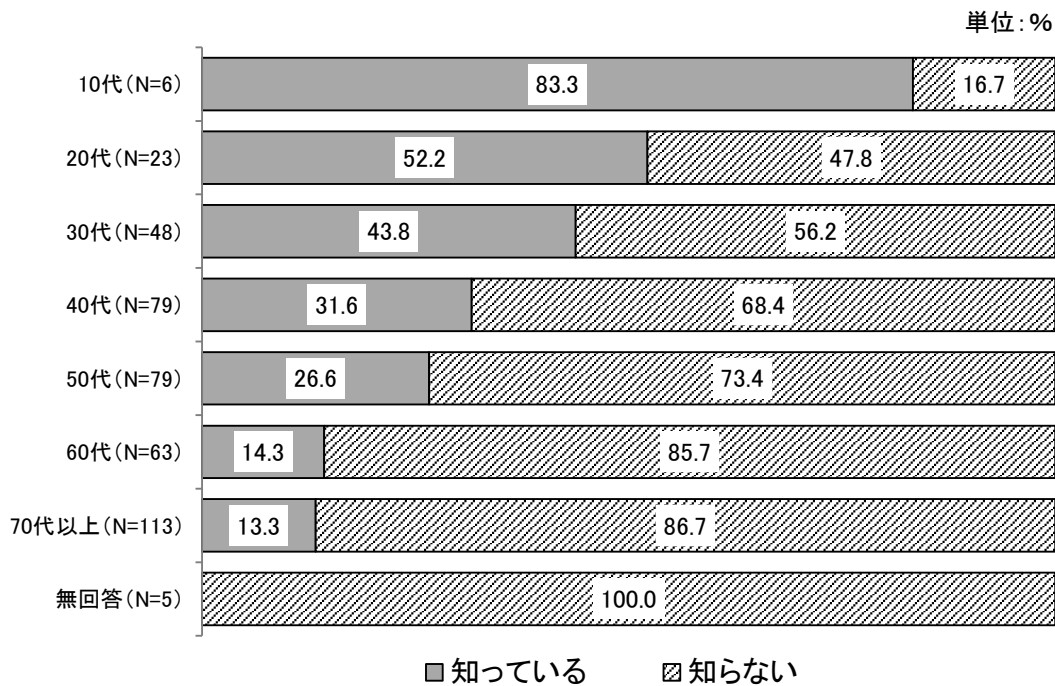


[全体の傾向]

「メディア・リテラシー」の全体の認知度については、認知度が低く、「知らない」と回答した割合が74.0%と、「知っている」(26.0%)を48ポイント上回っています。

[男女別の傾向]

性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が24.5%、男性が28.3%で、女性が男性より3.8ポイント低くなっています。

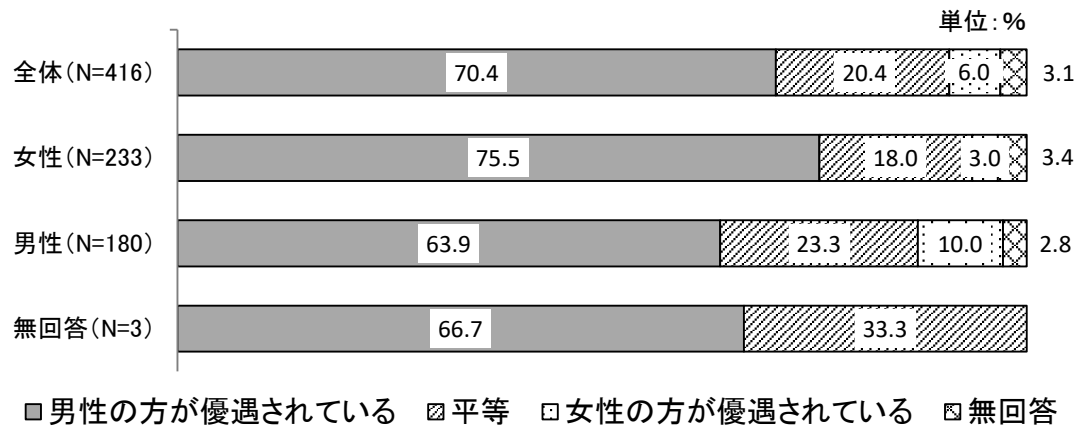


[年代別の傾向]

年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、10代が83.3%と最も高く、20代(52.2%)、30代(43.8%)が続きます。

(2) 男女の地位の平等について

問2 社会通念・習慣・しきたりにおいて男女の地位は平等になっていると思いますか。

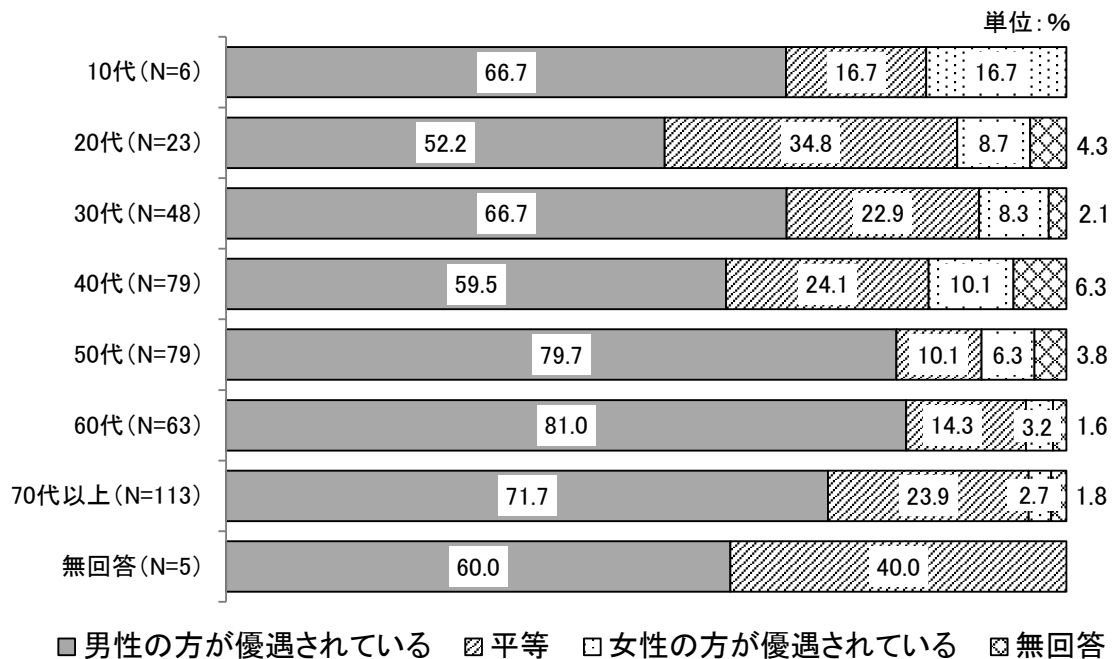


[全体の傾向]

男女の地位については、「男性の方が優遇されている」と回答した割合が70.4%で最も高く、「平等」(20.4%)、「女性の方が優遇されている」(6.0%)と続いています。

[男女別の傾向]

性別で見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した割合は、女性が75.5%、男性が63.9%で、女性が男性より11.6ポイント高くなっています。一方、「平等」と回答した割合は、女性が18.0%、男性が23.3%で、男性が女性より4.7ポイント高くなっています。

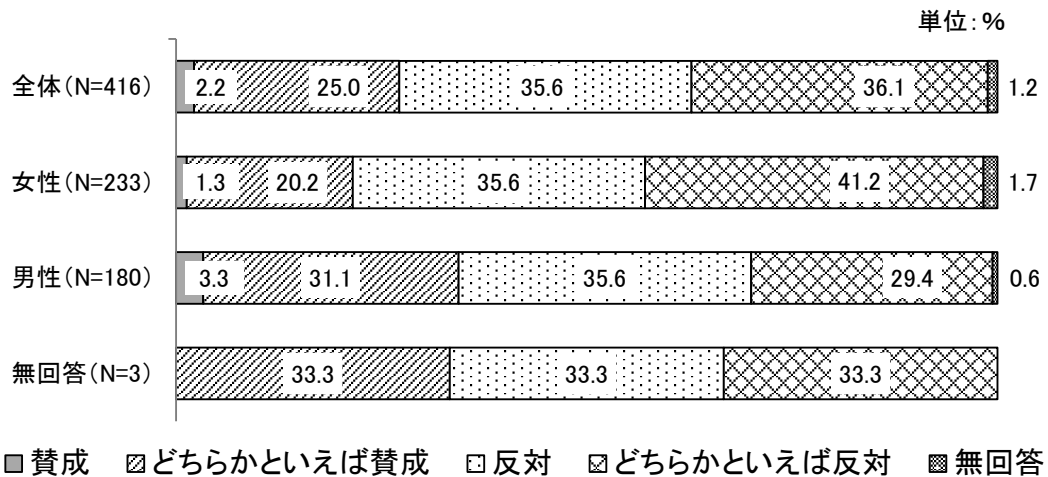


[年代別の傾向]

年代別で見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した割合は、全ての年代で過半数を占めています。一方、「平等」と回答した割合は、20代が34.8%で最も高く、50代(10.1%)との差は24.7ポイントとなっています。

(3)「男は仕事、女は家庭」という考え方について

問3 「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識について、
どうお考えですか。

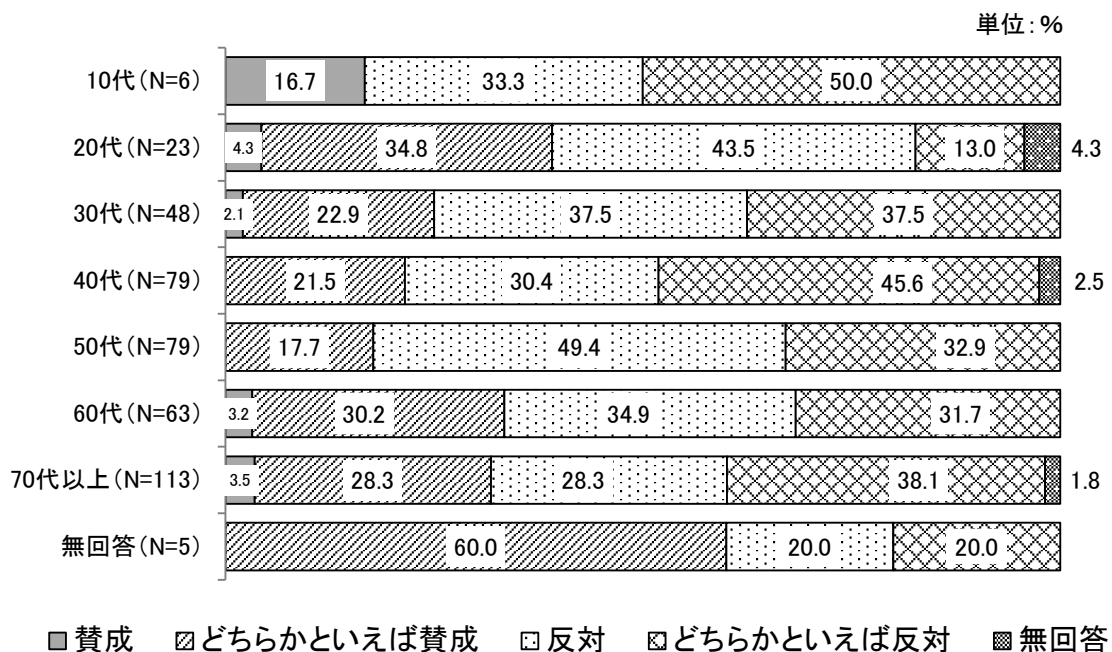


[全体の傾向]

固定的性別役割分担意識については、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した割合は、71.7%で、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合(27.2%)より44.5ポイント高くなっています。

[男女別の傾向]

性別で見ると、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合は、女性が21.5%、男性が34.4%で、男性が女性より12.9ポイント高くなっています。一方、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した割合は女性76.8%、男性65.0%と、女性が男性より11.8ポイント高くなっています。

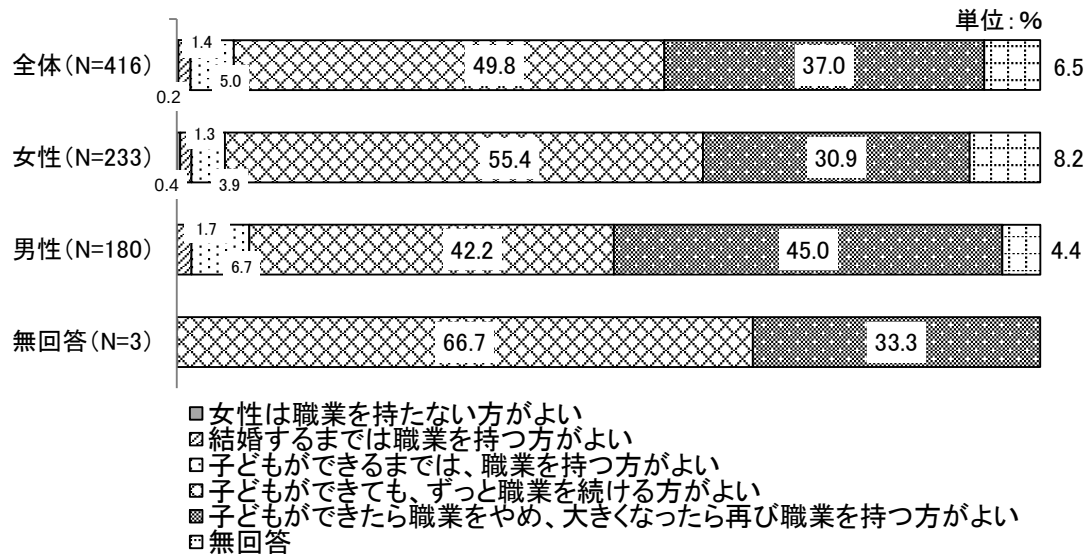


[年代別の傾向]

年代別で見ると、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した割合は、10代が83.3%と最も高く、50代(82.3%)、40代(76.0%)が続きます。

(4)一般的に女性が職業を持つことについて

問4 一般的に女性が職業を持つことについて、どうお考えですか。

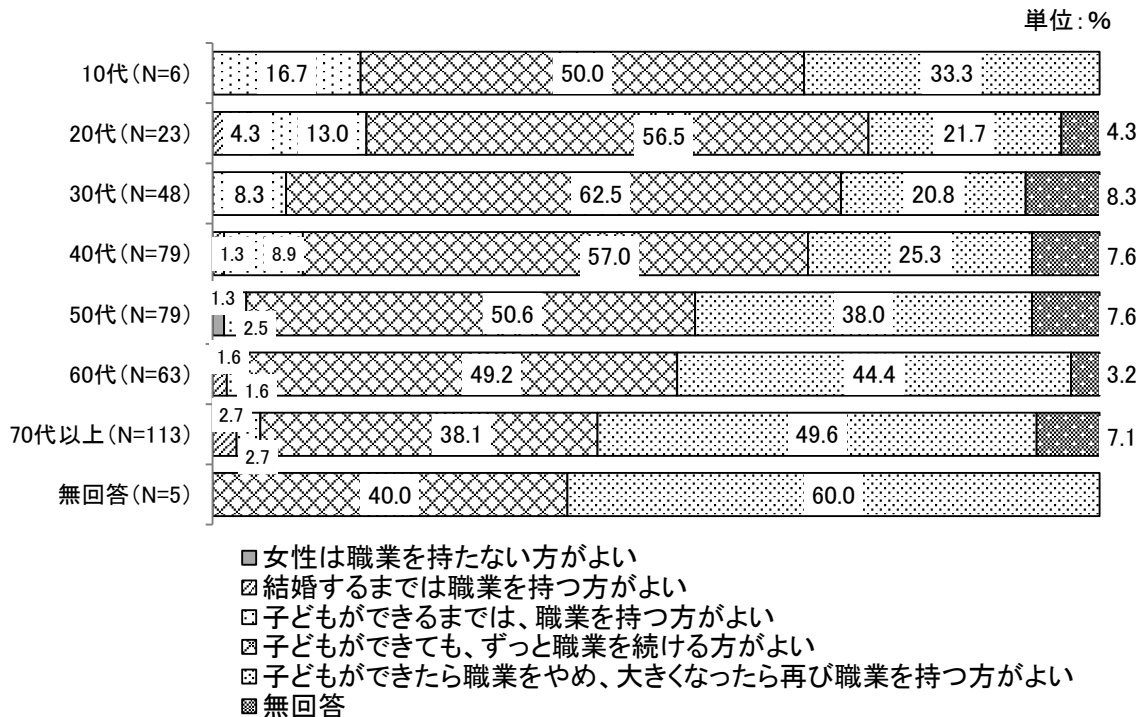


[全体の傾向]

「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合が49.8%で最も高く、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」(37.0%)が続きます。

[男女別の傾向]

性別で見ると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合は、女性が55.4%、男性が42.2%で、男性が女性より13.2ポイント低くなっています。一方、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」と回答した割合は、女性が30.9%、男性が45.0%で、男性が女性より14.1ポイント高くなっています。

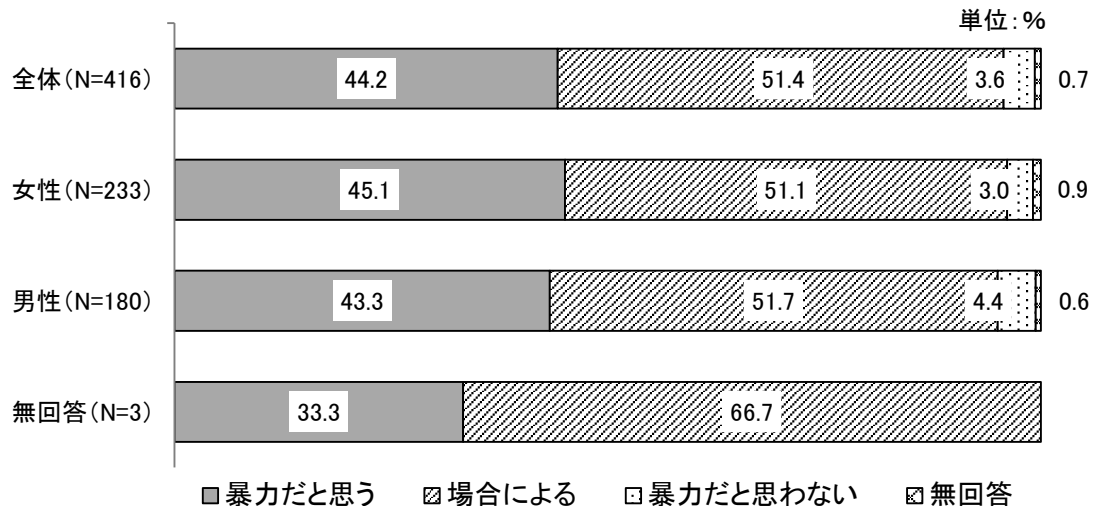


[年代別の傾向]

年代別で見ると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合は、30代が62.5%で最も高く、40代(57.0%)、20代(56.5%)が続きます。また、「女性は無職業の方がよい」または「結婚するまでは職業を持つ方がよい」と回答した割合は、全ての年代で5%未満と低くなっています。

(5) 配偶者や恋人などパートナー間における暴力行為について

問5 配偶者や恋人などパートナー間で、交友関係、電話、メールなどを細かく監視することを暴力だと思いませんか。

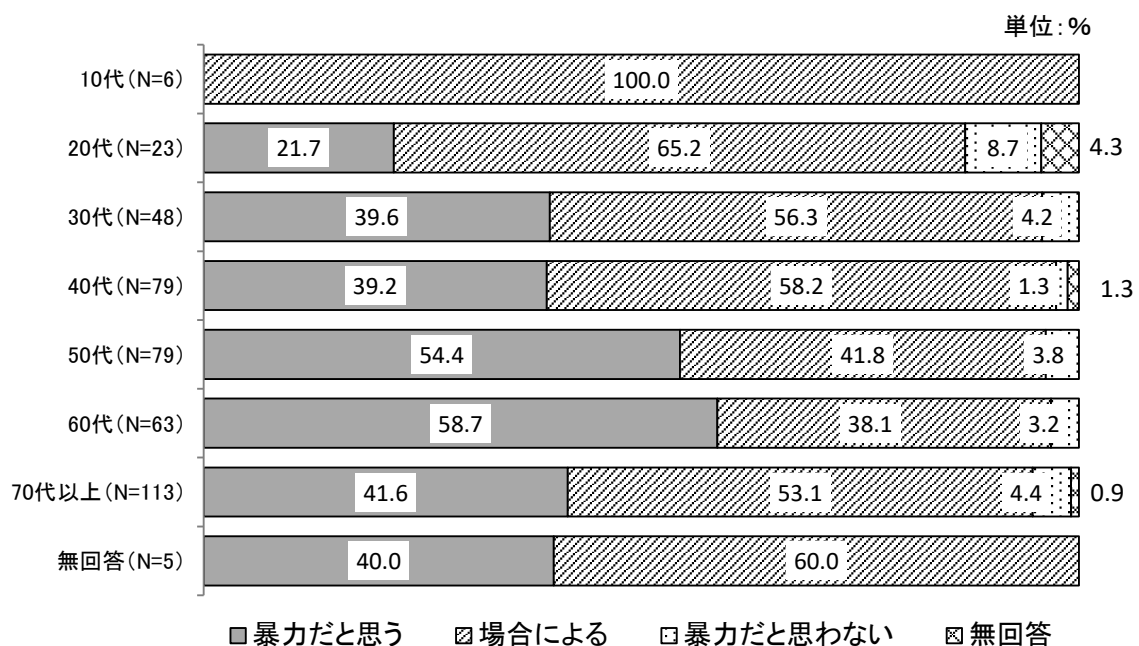


[全体の傾向]

配偶者・パートナー間で行われる行為について、交友関係、電話、メールなどを細かく監視することを「暴力だと思う」と回答した割合は44.2%で、「暴力だとは思わない」(3.6%)より40.6ポイント高くなっています。

[男女別の傾向]

性別で見ると、「暴力だと思う」と回答した割合は、男性が43.3%、女性が45.1%で、男性が女性より1.8ポイント低くなっていますが、性別による大きな傾向の違いはありません。

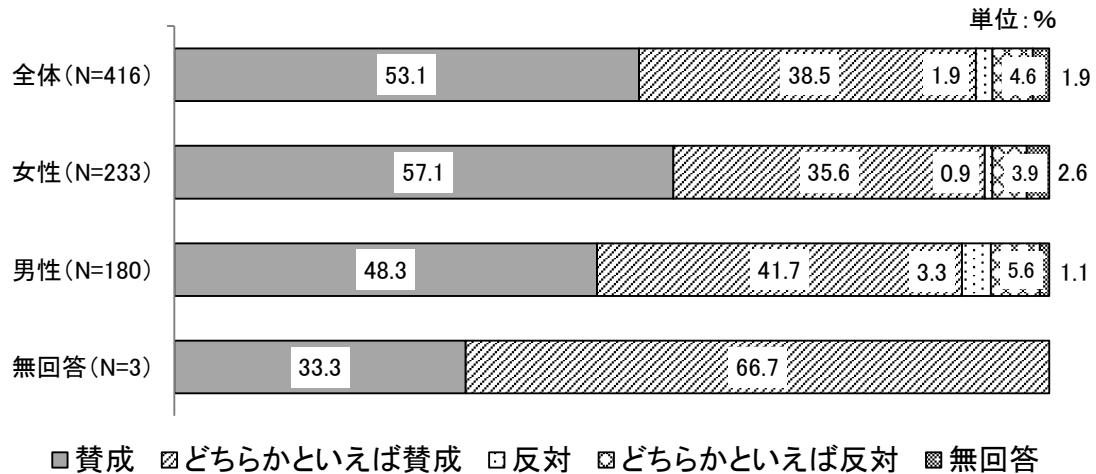


[年代別の傾向]

年代別で見ると、「暴力だと思う」と回答した割合は、60代が58.7%で最も高く、50代(54.4%)、70代以上(41.6%)が続きます。10代(0%)、20代(21.7%)は、他の年代と比べて「暴力だと思う」と回答した割合が低い結果となっています。

(6) 女性が妊娠・出産等について自ら決定することについて

問6 妊娠・出産等、自分のからだのことを自分で決める権利を、女性が有するという考え方について、どうお考えですか。

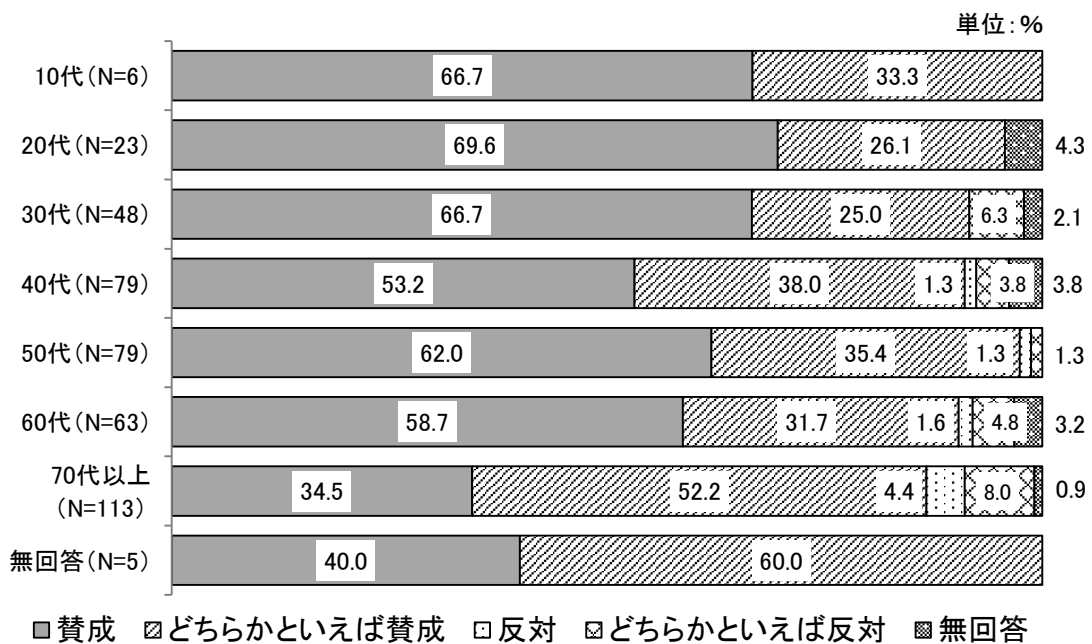


[全体の傾向]

妊娠・出産等、自分のからだのことを自分で決める権利を女性が有するという考え方については、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合が、91.6%と、全体の9割強を占めています。

[男女別の傾向]

性別で見ると、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合は、女性が92.7%、男性が90.0%で、男性が女性より2.7ポイント低くなっています。一方、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した割合は、女性が4.8%、男性8.9%で、女性が4.1ポイント低くなっています。

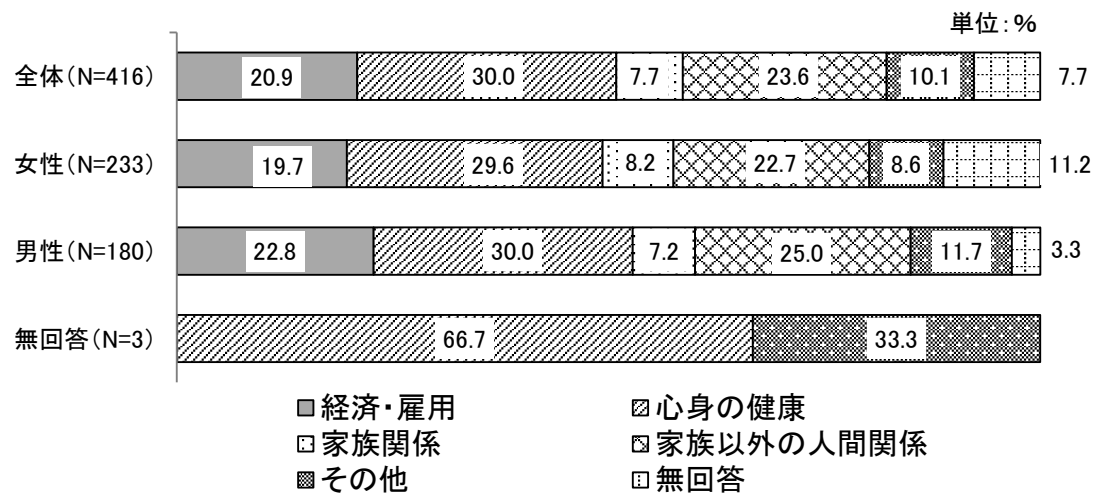


[年代別の傾向]

年代別で見ると、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合は、10代が100.0%と最も高く、50代(97.4%)、20代(95.7%)が続きます。70代以上は86.7%と、90%を下回っており、他の年代と比べ低い結果となっています。

(7) 新型コロナウイルスにより影響を受けた生活実態について

問7 コロナ禍において、生活で一番変化したものは何ですか。

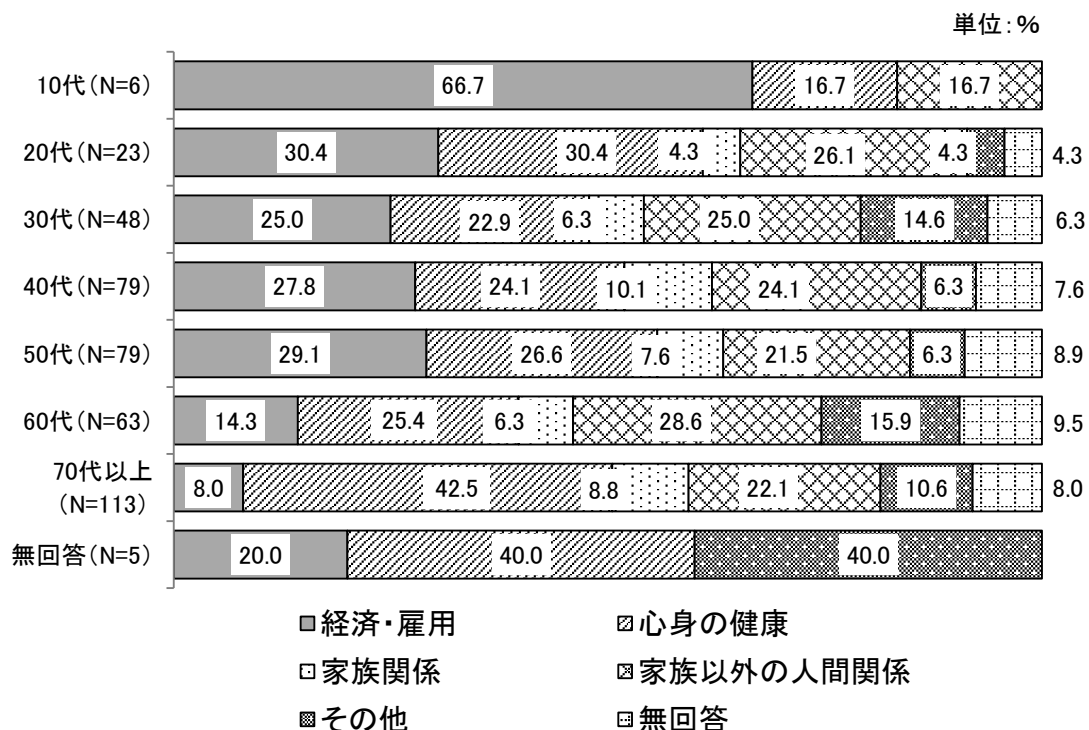


[全体の傾向]

「心身の健康」と回答した割合が30.0%で最も高く、「家族以外の人間関係」(23.6%)、「経済・雇用」(20.9%)、「家族関係」(7.7%)と続きます。

[男女別の傾向]

全ての選択肢において、男女間での選択率の差は5ポイント未満となっており、性別による大きな傾向の違いは見られません。



[年代別の傾向]

年代別に見ると、「雇用・経済」と回答した割合は、10代が66.7%と最も高く、20代(30.4%)、50代(29.1%)が続きます。「心身の健康」と回答した割合は、70代以上が42.5%と最も高く、20代(30.4%)、50代(26.6%)が続きます。「家族関係」と回答した割合は、40代が10.1%と最も高く、70代以上(8.8%)、50代(7.6%)が続きます。「家族以外の人間関係」と回答した割合は、60代が28.6%と最も高く、20代(26.1%)、30代(25%)が続きます。

そ の 他 意 見

問7で「その他」を選択された方の主な意見を紹介します。

※1人の回答者が複数の趣旨の意見を記入している場合があります。

- ・趣味の活動が制限された(80代・女性)
- ・外食ができなくなった(70代・男性)
- ・手洗い・除菌等の生活習慣が定着した(30代・女性)
- ・読書する機会が増えた(60代・男性)
- ・妻の料理の腕が上がった(60代・男性)
- ・外出を控えるようになった(80代・男性)
- ・家族で過ごす時間が長くなりストレスが増えた(60代・女性)
- ・ボーナスが減額された(50代・女性)
- ・地域社会での活動が制限された(60代・男性)
- ・福祉活動が制限された(60代・男性)
- ・社会とのつながりが減った(70代・女性)
- ・旅行に行けなくなった(70代・男性)
- ・海外渡航ができなくなった(60代・女性)
- ・自分の時間を持てるようになりゆとりができた(70代・女性)
- ・自発的に様々な活動を制限した(40代・男性)
- ・友人と会えなくなった(70代・男性)
- ・運動不足で体調が悪化した(50代・女性)
- ・新たなマナーやコミュニケーション方法が生まれた(50代・女性)
- ・働き方が変わった(30代・男性)
- ・子ども世帯と会う機会が減った(80代・男性)
- ・ワーク・ライフ・バランスが向上した(年代・性別無回答)
- ・特に変化したものはない(50代・女性)

第3章 調査結果のまとめ

第3章 調査結果のまとめ

1 男女共同参画に関する用語の認知度について

●「男女共同参画社会基本法」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が51.2%と、前回調査（41.1%）より10.1ポイント増加し、本市の調査では初めて過半数に達しています。しかしながら、「ちがさき男女共同参画推進プラン」（13.5%）、「茅ヶ崎市男女共同参画推進センターを拠点とした、男女共同参画社会の形成に向けた取組」（5.3%）、「女性のための相談室」（25.2%）、メディア・リテラシー（26.0%）については依然として認知度が低いことから、市民により一層浸透させていくための努力が必要です。【問1】

2 男女の地位の平等について

●「社会通念・慣習・しきたりにおける男女の地位の平等」については、「男性の方が優遇されている」と回答した割合が70.4%と高い水準にあり、また、前回調査（64.4%）より6ポイント増加するなど、男女の不平等感が根強く残っています。性別で見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した割合は、女性が75.5%、男性が63.9%で、男性が女性より11.6ポイント低く、男女間で意識の隔たりが見られます。【問2】

3 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

●「男は仕事、女は家庭という固定的性別役割分担意識」については、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した割合は71.7%と、否定的に考える人が多くなっています。また、前々回調査（63.8%）、前回調査（67.3%）と比較すると、近年着実に増加しているとわかります。一方、性別で見ると、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した割合は、女性が76.8%、男性が65.0%で、男性が女性より11.8ポイント低く、男女間で意識の隔たりが見られます。【問3】

4 一般的に女性が職業を持つことについて

●一般論としての女性の働き方について、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」とする就業継続を支持する回答の割合が49.8%で最も高く、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」（37.0%）が続きます。「女性は職業を持たないほうがよい」、「結婚するまでは職業を持つ方がよい」、「子どもができるまでは、職業を続ける方がよい」等の就業継続に否定的な回答の選択率はいずれも10%未満で、就業継続への支持が高まっています。しかしながら、前々回調査（42.8%）、前回調査（49.9%）と比較すると、前回調査より0.1ポイント減少しており、足踏みする結果となっています。一方、性別で見ると、就業継続を支持する回答の割合は、女性が55.4%、男性が42.2%で、男性が女性より14.1ポイント低く、男女間意識の隔たりが見られます。さらに年代別で見ると、若い世代ほど就業継続をしており、世代間でも意識の隔たりが見られます。【問4】

5 配偶者や恋人などパートナー間における暴力行為について

●「配偶者や恋人などパートナー間で、交友関係、電話、メールなどを細かく監視すること」を「暴力だと思う」と回答した割合は44.2%であり、「暴力だとは思わない」（3.6%）より40.6ポイント高くなっています。また、前々回調査（38.7%）、前回調査（38.8%）と比較すると、着実に増加していることがわかります。しかしながら、「場合による」または「暴力だとは思わない」と回答した割合が55.0%と過半数を占め、精神的暴力が暴力として十分に認識されていない実態があります。また、年代別で見ると、10代が100.0%、20代が73.9%で、若い世代において精神的暴力を必ずしも暴力として認識しない傾向が強くなっています【問5】

6 女性が妊娠・出産等について自ら決定することについて

●「妊娠・出産等、自分のからだのことを自分で決める権利を、女性が有するという考え方」については「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合が、91.6%と、全体の9割強を占めています。さらに、男女ともに9割強を占めており、一般的な考え方として広く市民に定着していることがうかがえます。

7 新型コロナウイルスにより影響を受けた生活実態について

●コロナ禍において最も影響の大きかったものとして、「心身の健康」と回答した割合が30.0%と最も高く、「家族以外の人間関係」（23.6%）、「経済・雇用」（20.9%）、「家族関係」（7.7%）が続きます。全ての選択肢において、男女間での選択率の差は5ポイント未満となっており、性別による大きな傾向の違いは見られません。年代別で見ると、勤労世代においては「経済・雇用」への影響が大きく、70代以上の高齢者においては「心身の健康」への影響が大きいことが伺えます。「家族関係」及び「家族以外の人間関係」では、年代間における顕著な差異は見られません。

資 料 編

資料

1 調査票

 郵便往復はがき 往信 宛名シール添付面 令和2年度 男女共同参画社会に関するアンケート調査 1 回答方法 (※詳細は裏面をご確認ください。) ①はがきによる回答 又は ②インターネットによる回答 2 提出期限 令和3年2月1日(月)まで お問い合わせ先 茅ヶ崎市 文化生涯学習部 男女共同参画課 電話 0467-577-1414 (直通)	問1 次のうち、知っている言葉や取組に<u>すべて</u>○をしてください。 1 男女共同参画社会基本法 2 ちがさき男女共同参画推進プラン 3 茅ヶ崎市男女共同参画推進センターを拠点とした、男女共同参画社会の形成に向けた取組 4 女性のための相談室 5 メディア・リテラシー (正しい情報を選択して活用する能力) 問2 社会通念・習慣・しきたりにおいて男女の地位は平等になっていると思いますか。 1 男性の方が優遇されている 2 平等 3 女性の方が優遇されている 問3 「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識について、どうお考えですか。 1 賛成 2 どちらかといえば賛成 3 反対 4 どちらかといえば反対 問4 一般的に女性が職業を持つことについて、どうお考えですか。 1 女性は職業をもたない方がよい 2 結婚するまでは職業をもつ方がよい 3 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい 4 子どもができても、ずっと職業を続ける方がよい 5 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい 問5 配偶者や恋人などパートナー間で、交友関係、電話、メールなどを細かく監視することを暴力だと思いませんか。 1 暴力だと思う 2 場合による 3 暴力だと思わない 問6 妊娠・出産等、自分のからだのことを自分で決める権利を、女性があるという考え方について、どうお考えですか。 1 賛成 2 どちらかといえば賛成 3 反対 4 どちらかといえば反対 問7 コロナ禍において、生活で一番変化したものは何ですか。 1 経済・雇用 2 心身の健康 3 家族関係 4 家族以外の人間関係 4 その他 ()
---	---

 郵便往復はがき 返信 宛名シール貼付面 令和2年度 男女共同参画社会に関するアンケート調査 1 回答方法 (※詳細は裏面をご確認ください。) ①はがきによる回答 又は ②インターネットによる回答 2 提出期限 令和3年2月1日(月)まで お問い合わせ先 茅ヶ崎市 文化生涯学習部 男女共同参画課 電話 0467-577-1414 (直通)	このアンケートは、無作為抽出により選ばれた1300人の方に市民を代表してお答えいただくものです。 御協力のほど、よろしくお願いします。 ◆回答方法 (※一方を選択のうえ、回答してください) ①はがきにより回答する場合 手順1 返信用はがき に記入 手順2 返信用はがき を切り離して 手順3 ポストに投函 2/1(月)必着 ②インターネットにより回答する場合 手順1 右のコード読み込み 手順2 専用フォームで回答 2/1(月)までアクセス可能  ※次の URL から回答いただくこともできます。 https://dashinsei.e-kagawa.lg.jp/142077-w/offer/offerList_detail.action?tempSeq=10637 また、回答は無記名で行い、集計結果は統計的に処理いたしますので、本調査により個人が特定されることはありません。
---	--

2 各設問の集計表

(1)男女共同参画に関する用語の認知度について

問1－① 男女共同参画社会基本法

単位：％

		N	知っている	知らない
全体		416	51.2	48.8
性別	男性	233	44.2	55.8
	女性	180	60.6	39.4
	無回答	3	33.3	66.7
年齢	10代	6	50.0	50.0
	20代	23	69.6	30.4
	30代	48	54.2	45.8
	40代	79	43.0	57.0
	50代	79	54.4	45.6
	60代	63	47.6	52.4
	70代以上	113	52.2	47.8
	無回答	5	40.0	60.0
職業	農業・漁業	—	*	*
	自営業・経営者・自由業 (開業医や弁護士など)	20	50.0	50.0
	公務員・団体職員	26	73.1	26.9
	会社員	121	55.4	44.6
	パート・アルバイト	64	34.4	65.6
	家事専業	72	47.2	52.8
	学生	11	63.6	36.4
	無職	87	52.9	47.1
	その他	12	58.3	41.7
	無回答	3	33.3	66.7
家族構成	単身者 (ひとり暮らしなど)	45	51.1	48.9
	夫婦のみ (パートナーとふたり暮らし)	131	54.2	45.8
	親と未婚の子どものみ	147	49.7	50.3
	親と子ども夫婦のみ	18	66.7	33.3
	直系三世代以上 (親と子、孫など)	32	46.9	53.1
	その他	38	42.1	57.9
	無回答	5	60.0	40.0

問 1－② ちがさき男女共同参画推進プラン

単位：％

		N	知っている	知らない
全体		416	13.5	86.5
性別	男性	233	15.5	84.5
	女性	180	11.1	88.9
	無回答	3	—	100.0
年齢	10代	6	—	100.0
	20代	23	—	100.0
	30代	48	10.4	89.6
	40代	79	5.1	94.9
	50代	79	19.0	81.0
	60代	63	20.6	79.4
	70代以上	113	16.8	83.2
	無回答	5	—	100.0
職業	農業・漁業	—	*	*
	自営業・経営者・自由業 (開業医や弁護士など)	20	15.0	85.0
	公務員・団体職員	26	23.1	76.9
	会社員	121	9.1	90.9
	パート・アルバイト	64	14.1	85.9
	家事専業	72	20.8	79.2
	学生	11	—	100.0
	無職	87	13.8	86.2
	その他	12	—	100.0
	無回答	3	—	100.0
家族構成	単身者 (ひとり暮らしなど)	45	11.1	88.9
	夫婦のみ (パートナーとふたり暮らし)	131	14.5	85.5
	親と未婚の子どものみ	147	11.6	88.4
	親と子ども夫婦のみ	18	22.2	77.8
	直系三世代以上 (親と子、孫など)	32	18.8	81.2
	その他	38	13.2	86.8
	無回答	5	—	100.0

問 1－③

茅ヶ崎市男女共同参画推進センターを拠点とした、男女共同参画社会の形成に向けた取組

単位：％

		N	知っている	知らない
全体		416	5.3	94.7
性別	男性	233	5.2	94.8
	女性	180	5.6	94.4
	無回答	3	—	100.0
年齢	10代	6	16.7	83.3
	20代	23	—	100.0
	30代	48	2.1	97.9
	40代	79	3.8	96.2
	50代	79	6.3	93.7
	60代	63	7.9	92.1
	70代以上	113	6.2	93.8
	無回答	5	—	100.0
職業	農業・漁業	—	*	*
	自営業・経営者・自由業 (開業医や弁護士など)	20	10.0	90.0
	公務員・団体職員	26	11.5	88.5
	会社員	121	3.3	96.7
	パート・アルバイト	64	3.1	96.9
	家事専業	72	8.3	91.7
	学生	11	9.1	90.9
	無職	87	4.6	95.4
	その他	12	—	100.0
	無回答	3	—	100.0
家族構成	単身者 (ひとり暮らしなど)	45	8.9	91.1
	夫婦のみ (パートナーとふたり暮らし)	131	4.6	95.4
	親と未婚の子どものみ	147	4.8	95.2
	親と子ども夫婦のみ	18	11.1	88.9
	直系三世代以上 (親と子、孫など)	32	3.1	96.9
	その他	38	5.3	94.7
	無回答	5	—	100.0

問 1－④ 女性のための相談室

単位：％

		N	知っている	知らない
全体		416	25.2	74.8
性別	男性	233	30.9	69.1
	女性	180	18.3	81.7
	無回答	3	—	100.0
年齢	10代	6	—	100.0
	20代	23	13.0	87.0
	30代	48	16.7	83.3
	40代	79	20.3	79.7
	50代	79	36.7	63.3
	60代	63	30.2	69.8
	70代以上	113	25.7	74.3
	無回答	5	20.0	80.0
職業	農業・漁業	—	*	*
	自営業・経営者・自由業 (開業医や弁護士など)	20	30.0	70.0
	公務員・団体職員	26	26.9	73.1
	会社員	121	24.8	75.2
	パート・アルバイト	64	35.9	64.1
	家事専業	72	30.6	69.4
	学生	11	9.1	90.9
	無職	87	13.8	86.2
	その他	12	33.3	66.7
	無回答	3	—	100.0
家族構成	単身者 (ひとり暮らしなど)	45	15.6	84.4
	夫婦のみ (パートナーとふたり暮らし)	131	29.0	71.0
	親と未婚の子どものみ	147	23.8	76.2
	親と子ども夫婦のみ	18	22.2	77.8
	直系三世代以上 (親と子、孫など)	32	28.1	71.9
	その他	38	31.6	68.4
	無回答	5	—	100.0

問 1－⑤ メディア・リテラシー

単位：％

		N	知っている	知らない
全体		416	26.0	74.0
性別	男性	233	24.5	75.5
	女性	180	28.3	71.7
	無回答	3	—	100.0
年齢	10代	6	83.3	16.7
	20代	23	52.2	47.8
	30代	48	43.8	56.2
	40代	79	31.6	68.4
	50代	79	26.6	73.4
	60代	63	14.3	85.7
	70代以上	113	13.3	86.7
	無回答	5	—	100.0
職業	農業・漁業	—	*	*
	自営業・経営者・自由業 (開業医や弁護士など)	20	20.0	80.0
	公務員・団体職員	26	46.2	53.8
	会社員	121	33.9	66.1
	パート・アルバイト	64	17.2	82.8
	家事専業	72	19.4	80.6
	学生	11	72.7	27.3
	無職	87	16.1	83.9
	その他	12	33.3	66.7
	無回答	3	—	100.0
家族構成	単身者 (ひとり暮らしなど)	45	33.3	66.7
	夫婦のみ (パートナーとふたり暮らし)	131	18.3	81.7
	親と未婚の子どものみ	147	34.0	66.0
	親と子ども夫婦のみ	18	11.1	88.9
	直系三世代以上 (親と子、孫など)	32	25.0	75.0
	その他	38	23.7	76.3
	無回答	5	—	100.0

(2)男女の地位の平等について

問 2

単位：％

		N	男性優遇	平等	女性優遇	無回答
全体		416	70.4	20.4	6.0	3.1
性別	男性	233	75.5	18.0	3.0	3.4
	女性	180	63.9	23.3	10.0	2.8
	無回答	3	66.7	33.3	—	—
年齢	10代	6	66.7	16.7	16.7	—
	20代	23	52.2	34.8	8.7	4.3
	30代	48	66.7	22.9	8.3	2.1
	40代	79	59.5	24.1	10.1	6.3
	50代	79	79.7	10.1	6.3	3.8
	60代	63	81.0	14.3	3.2	1.6
	70代以上	113	71.7	23.9	2.7	1.8
	無回答	5	60.0	40.0	—	—
職業	農業・漁業	—	*	*	*	*
	自営業・経営者・自由業 (開業医や弁護士など)	20	65.0	30.0	5.0	—
	公務員・団体職員	26	61.5	23.1	11.5	3.8
	会社員	121	68.6	17.4	10.7	3.3
	パート・アルバイト	64	76.6	14.1	4.7	4.7
	家事専業	72	80.6	18.1	—	1.4
	学生	11	45.5	45.5	9.1	0.0
	無職	87	67.8	24.1	4.6	3.4
	その他	12	66.7	25.0	—	8.3
	無回答	3	66.7	33.3	—	—
家族構成	単身者 (ひとり暮らしなど)	45	68.9	17.8	11.1	2.2
	夫婦のみ (パートナーとふたり暮らし)	131	77.1	19.8	0.8	2.3
	親と未婚の子どものみ	147	67.3	20.4	7.5	4.8
	親と子ども夫婦のみ	18	61.1	22.2	5.6	11.1
	直系三世代以上 (親と子、孫など)	32	75.0	12.5	12.5	—
	その他	38	65.8	26.3	7.9	—
	無回答	5	40.0	60.0	—	—

(3)「男は仕事、女は家庭」という考え方について

問 3

単位：％

		N	賛成	どちらかといえば賛成	反対	どちらかといえば反対	無回答
全体		416	2.2	25.0	35.6	36.1	1.2
性別	男性	233	1.3	20.2	35.6	41.2	1.7
	女性	180	3.3	31.1	35.6	29.4	0.6
	無回答	3	—	33.3	33.3	33.3	—
年齢	10代	6	16.7	—	33.3	50.0	—
	20代	7	4.3	34.8	43.5	13.0	4.3
	30代	8	2.1	22.9	37.5	37.5	—
	40代	9	—	21.5	30.4	45.6	2.5
	50代	10	—	17.7	49.4	32.9	—
	60代	11	3.2	30.2	34.9	31.7	—
	70代以上	12	3.5	28.3	28.3	38.1	1.8
	無回答	13	—	60.0	20.0	20.0	—
職業	農業・漁業	—	*	*	*	*	*
	自営業・経営者・自由業 (開業医や弁護士など)	20	—	50.0	15.0	35.0	—
	公務員・団体職員	26	3.8	11.5	46.2	38.5	—
	会社員	121	0.8	23.1	40.5	34.7	0.8
	パート・アルバイト	64	1.6	28.1	34.4	35.9	—
	家事専業	72	1.4	25.0	29.2	43.1	1.4
	学生	11	9.1	9.1	54.5	27.3	—
	無職	87	4.6	25.3	32.2	35.6	2.3
	その他	12	—	25.0	50.0	16.7	8.3
	無回答	3	—	33.3	33.3	33.3	—
家族構成	単身者 (ひとり暮らしなど)	45	0.0	28.9	35.6	33.3	2.2
	夫婦のみ (パートナーとふたり暮らし)	131	2.3	32.8	27.5	36.6	0.8
	親と未婚の子どものみ	147	2.7	17.0	44.2	34.7	1.4
	親と子ども夫婦のみ	18	—	38.9	44.4	11.1	5.6
	直系三世代以上 (親と子、孫など)	32	6.3	31.3	31.3	31.3	—
	その他	38	0.0	13.2	26.3	60.5	—
	無回答	5	0.0	20.0	60.0	20.0	—

(4) 一般的に女性が職業を持つことについて

問 4

単位：％

		N	女性は職業をもたない方がよい	結婚するまでは職業をもつ方がよい	子どもができるまでは、職業をもつ方がよい	子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい	子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい	無回答
全体		416	0.2	1.4	5.0	49.8	37.0	6.5
性別	男性	233	0.4	1.3	3.9	55.4	30.9	8.2
	女性	180	—	1.7	6.7	42.2	45.0	4.4
	無回答	3	—	—	—	66.7	33.3	—
年齢	10代	6	—	—	16.7	50.0	33.3	—
	20代	7	—	4.3	13.0	56.5	21.7	4.3
	30代	8	—	—	8.3	62.5	20.8	8.3
	40代	9	—	1.3	8.9	57.0	25.3	7.6
	50代	10	1.3	—	2.5	50.6	38.0	7.6
	60代	11	—	1.6	1.6	49.2	44.4	3.2
	70代以上	12	—	2.7	2.7	38.1	49.6	7.1
	無回答	13	—	—	—	40.0	60.0	—
職業	農業・漁業	—	*	*	*	*	*	*
	自営業・経営者・自由業 (開業医や弁護士など)	20	—	—	5.0	35.0	50.0	10.0
	公務員・団体職員	26	—	—	—	57.7	30.8	11.5
	会社員	121	—	0.8	5.8	51.2	36.4	5.8
	パート・アルバイト	64	1.6	3.1	7.8	59.4	25.0	3.1
	家事専業	72	—	2.8	2.8	45.8	40.3	8.3
	学生	11	—	—	9.1	54.5	36.4	—
	無職	87	—	1.1	5.7	41.4	46.0	5.7
	その他	12	—	—	—	66.7	16.7	16.7
	無回答	3	—	—	—	66.7	33.3	—
家族構成	単身者 (ひとり暮らしなど)	45	—	4.4	6.7	42.2	37.8	8.9
	夫婦のみ (パートナーとふたり暮らし)	131	—	0.8	3.1	48.9	42.0	5.3
	親と未婚の子どものみ	147	0.7	0.7	6.8	51.7	31.3	8.8
	親と子ども夫婦のみ	18	—	—	5.6	55.6	38.9	—
	直系三世代以上 (親と子、孫など)	32	—	3.1	6.3	50.0	37.5	3.1
	その他	38	—	2.6	2.6	52.6	36.8	5.3
	無回答	5	—	—	—	40.0	60.0	—

(5) 配偶者や恋人などパートナー間における暴力行為について

問 5

単位：％

		N	暴力だと思う	場合による	暴力だと思わない	無回答
全体		416	44.2	51.4	3.6	0.7
性別	男性	233	45.1	51.1	3.0	0.9
	女性	180	43.3	51.7	4.4	0.6
	無回答	3	33.3	66.7	—	—
年齢	10代	6	—	100.0	—	—
	20代	23	21.7	65.2	8.7	4.3
	30代	48	39.6	56.3	4.2	—
	40代	79	39.2	58.2	1.3	1.3
	50代	79	54.4	41.8	3.8	—
	60代	63	58.7	38.1	3.2	—
	70代以上	113	41.6	53.1	4.4	0.9
	無回答	5	40.0	60.0	—	—
職業	農業・漁業	—	*	*	*	*
	自営業・経営者・自由業 (開業医や弁護士など)	20	55.0	45.0	—	—
	公務員・団体職員	26	46.2	53.8	—	—
	会社員	121	41.3	53.7	4.1	0.8
	パート・アルバイト	64	48.4	48.4	3.1	—
	家事専業	72	48.6	48.6	1.4	1.4
	学生	11	18.2	72.7	9.1	—
	無職	87	40.2	54.0	5.7	—
	その他	12	58.3	25.0	8.3	8.3
	無回答	3	33.3	66.7	—	—
家族構成	単身者 (ひとり暮らしなど)	45	48.9	44.4	4.4	2.2
	夫婦のみ (パートナーとふたり暮らし)	131	45.0	51.1	3.8	—
	親と未婚の子どものみ	147	44.9	49.0	4.8	1.4
	親と子ども夫婦のみ	18	44.4	55.6	—	—
	直系三世代以上 (親と子、孫など)	32	46.9	53.1	—	—
	その他	38	34.2	63.2	2.6	—
	無回答	5	20.0	80.0	—	—

(6)女性が妊娠・出産等について自ら決定することについて

問 6

単位：％

		N	賛成	どちらかといえば賛成	反対	どちらかといえば反対	無回答
全体		416	53.1	38.5	1.9	4.6	1.9
性別	男性	233	57.1	35.6	0.9	3.9	2.6
	女性	180	48.3	41.7	3.3	5.6	1.1
	無回答	3	33.3	66.7	—	—	—
年齢	10代	6	66.7	33.3	—	—	—
	20代	7	69.6	26.1	—	—	4.3
	30代	8	66.7	25.0	—	6.3	2.1
	40代	9	53.2	38.0	1.3	3.8	3.8
	50代	10	62.0	35.4	1.3	1.3	—
	60代	11	58.7	31.7	1.6	4.8	3.2
	70代以上	12	34.5	52.2	4.4	8.0	0.9
	無回答	13	40.0	60.0	—	—	—
職業	農業・漁業	—	*	*	*	*	*
	自営業・経営者・自由業 (開業医や弁護士など)	20	70.0	25.0	5.0	—	—
	公務員・団体職員	26	76.9	23.1	—	—	—
	会社員	121	55.4	37.2	3.3	1.7	2.5
	パート・アルバイト	64	54.7	35.9	0.0	7.8	1.6
	家事専業	72	52.8	37.5	1.4	5.6	2.8
	学生	11	81.8	18.2	—	—	—
	無職	87	35.6	54.0	1.1	8.0	1.1
	その他	12	50.0	25.0	8.3	8.3	8.3
	無回答	3	33.3	66.7	—	—	—
家族構成	単身者 (ひとり暮らしなど)	45	46.7	46.7	2.2	4.4	—
	夫婦のみ (パートナーとふたり暮らし)	131	44.3	41.2	4.6	7.6	2.3
	親と未婚の子どものみ	147	63.3	31.3	0.7	2.0	2.7
	親と子ども夫婦のみ	18	50.0	44.4	—	5.6	—
	直系三世代以上 (親と子、孫など)	32	46.9	46.9	—	3.1	3.1
	その他	38	60.5	34.2	—	5.3	—
	無回答	5	40.0	60.0	—	—	—

(7)新型コロナウイルスにより影響を受けた生活実態について

問 7

単位：％

		N	経済・雇用	心身の健康	家族関係	家族以外の 人間関係	その他	無回答
全体		416	20.9	30.0	7.7	23.6	10.1	7.7
性別	男性	233	19.7	29.6	8.2	22.7	8.6	11.2
	女性	180	22.8	30.0	7.2	25.0	11.7	3.3
	無回答	3	—	66.7	—	—	33.3	—
年齢	10代	6	66.7	16.7	—	16.7	—	—
	20代	7	30.4	30.4	4.3	26.1	4.3	4.3
	30代	8	25.0	22.9	6.3	25.0	14.6	6.3
	40代	9	27.8	24.1	10.1	24.1	6.3	7.6
	50代	10	29.1	26.6	7.6	21.5	6.3	8.9
	60代	11	14.3	25.4	6.3	28.6	15.9	9.5
	70代以上	12	8.0	42.5	8.8	22.1	10.6	8.0
	無回答	13	20.0	40.0	—	—	40.0	—
職業	農業・漁業	—	*	*	*	*	*	*
	自営業・経営者・自由業 (開業医や弁護士など)	20	40.0	20.0	15.0	15.0	10.0	—
	公務員・団体職員	26	11.5	34.6	11.5	23.1	15.4	3.8
	会社員	121	27.3	24.0	5.8	24.0	9.9	9.1
	パート・アルバイト	64	29.7	25.0	9.4	23.4	7.8	4.7
	家事専業	72	11.1	36.1	9.7	26.4	5.6	11.1
	学生	11	54.5	27.3	—	9.1	9.1	—
	無職	87	10.3	37.9	5.7	25.3	14.9	5.7
	その他	12	8.3	25.0	8.3	25.0	—	33.3
	無回答	3	—	66.7	—	—	33.3	—
家族構成	単身者 (ひとり暮らしなど)	45	24.4	35.6	4.4	22.2	8.9	4.4
	夫婦のみ(パートナーとふたり暮らし)	131	16.0	30.5	6.1	28.2	9.9	9.2
	親と未婚の子どものみ	147	22.4	26.5	6.8	27.2	8.8	8.2
	親と子ども夫婦のみ	18	16.7	61.1	16.7	5.6	—	—
	直系三世代以上 (親と子、孫など)	32	25.0	31.3	12.5	18.8	6.3	6.3
	その他	38	28.9	18.4	13.2	10.5	18.4	10.5
	無回答	5	—	40.0	—	—	60.0	—

令和２年度男女共同参画社会に関するアンケート調査報告書

令和３（２０２１）年３月発行

第１刷 １３０部作成

発 行 茅ヶ崎市

編 集 文化生涯学習部男女共同参画課

〒２５３－００４４

神奈川県茅ヶ崎市新栄町１２－１２ 茅ヶ崎トラストビル４階

茅ヶ崎市男女共同参画推進センター いこりあ内

電 話 ０４６７－５７－１４１４（直通）

FAX ０４６７－５７－１６６６

ホームページ <http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/>

携帯サイト <http://mobile.city.chigasaki.kanagawa.jp/>

ＱＲコード

